

2026年5月調査結果

“豊田の景況感、持ち直しの様相から暗転”

	現状判断DI				先行き判断DI				水準判断DI			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	37.3	32.2	48.2	36.2	37.7	32.5	48.2	36.5	39.6	36.3	44.6	38.7
全国	43.8	43.7	41.5	43.6	40.9	40.4	39.2	40.7	44.4	44.9	43.6	44.5
東海	40.1	—	—	41.1	39.9	—	—	38.7	41.0	—	—	42.9

※全国、東海は内閣府5月調査 【天気図の見方】 DI値 大きな晴れ：60点以上／ 晴れ：50～60点未満／ 曇り：40～50点未満／ 雨：40点未満

2026年5月 調査結果総括

現状の豊田における景況感は、前回の2025年11月で確認された製造業を中心として「持ち直しつつある」状況から一転し、全体的に非常に厳しい景況感が確認されています。要因としては「中東情勢不安」から派生した原油・ナフサ不足の懸念や、「物価高騰」に対する先行きの不安の声が数多く見受けられ、それらが景況感を押し下げている様子が。前回調査においても物価高に対する影響はあったものの、これに「中東情勢不安」が加わり大きくDIを下げた形となりました。特に、原油由来の燃料費高騰やナフサ不足の影響を直に受ける「製造」、食材料費高騰の影響を受け値上げと集客で苦戦を強いられる「飲食」は、全国比で現状判断DIは大きく劣っています。

先行き見通しについては、全体で景況感の横ばいを示すDI50を下回っています。特に、「小売」「製造」「非製造」の見通しが厳しく、「中東情勢不安」が今後も続く懸念が非常に強いことが確認されました。全国比でも一部を除き慎重な先行き見通しが確認される結果となっています。

足元の景況感を示す水準判断では、「サービス」「雇用」を除き、全国比で足元の景況感の弱さが確認されました。豊田市内における観光客往来や企業の採用意欲、労働者の求職状況から、「サービス」「雇用」については全国比でやや優位となっています。

今回の調査結果では、全国比「劣位」の景況感にある業種が大半であり、景況感を慎重に見る傾向の強い豊田を再認識する結果となりました。

2026年5月 特別調査結果

【所得見通し】所得が増えていくことへの期待感は薄まっており、昨今の世界情勢・物価高から市内における所得改善の見通しは限定的と見られます。

【お小遣い調査】物価高に対する所得増加が追いついておらず、自由に使えるお金は増えていない様子が伺えます。

【物価高・節約に関する調査】生活に直結する食料品に対する物価高騰の声が多く寄せられました。ガソリン代については政府の補助金もあり、値上がりを実感された方は限定的でしたが、補助金次第の面もあり油断は出来ない状況です。支出を抑えた項目も同時に調査した結果、外食や外出回数を減らすと回答されたモニターが数多く見受けられ、豊田市内における経済活動の鈍化が懸念されます。

【豊田市駅周辺の整備に関する調査】約6割のモニターが好影響を期待する中、普段から駅を利用しないモニターからは「期待していない」などの声も寄せられました。他にも、“快速電車”を望む声やバスとの連絡改善など、ソフト面についての意見も多く寄せられました。

【キャッシュレス決済の利用に関する調査】キャッシュレス決済を日常的に利用される方は約8割となっています。クレジットカードでの決済が大半ですが、QR・バーコード決済をメインで利用される方が“現金派”を上回っており、豊田市内でのキャッシュレス決済の普及が進んでいる状況が確認できました。

1. 調査期間：2026年5月18日～5月31日

2. 調査客体：293名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：195名／有効回答率：66.5%

3. 調査項目：
 - ・2～3ヶ月前に比べ現在の景気はどう変化したと感じますか？⇒現状判断DI
 - ・2～3ヶ月前の景気は現状に比べどう変化すると予想しますか？⇒先行き判断DI
 - ・現在の景気的水準をどう判断されますか？⇒水準判断DI

4. DI算出方法：
- <問い合わせ先>

豊田商工会議所：吉迫・岩瀬

0565-32-4594

豊田信用金庫：村上

0565-36-1384

評価段階		5	4	3	2	1
評価	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数		1	0.75	0.5	0.25	0

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%比）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがDI値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月／11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から構成しています。なお、本調査では別に「特別調査」を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

現状判断

先行き判断

水準判断

総括

総合DI（豊田）悪化

前回

今回

46.5▲10.336.2

●前回比

・総合：悪化（曇→雨）

・家計：悪化（曇→雨）

・企業：悪化（曇→雨）

・雇用：悪化（晴→曇）

●全国比

・総合：不変（劣位→劣位）

・家計：不変（劣位→劣位）

・企業：不変（劣位→劣位）

・雇用：不変（優位→優位）

前回比

全国比

業種別内訳

「飲食」は食材費高騰、「製造」は中東情勢・ナフサ不足が景況感後退の要因となっている様子

（D I）

小売

飲食

サービス

住宅

製造

非製造

雇用

40.2

36.2

43.8

25.0

52.6

42.3

35.7

37.5

49.5

30.6

45.2

34.8

51.6

48.2

▲4.0

▲18.8

▲10.3

+1.8

▲18.9

▲10.4

▲3.4

【改善・悪化】

■2025/11 調査

■2026/5 調査

全国比でも豊田は、中東情勢・物価高の懸念が色濃く、「飲食」「製造」が非常に弱い

（D I）

小売

飲食

サービス

住宅

製造

非製造

雇用

44.4

36.2

44.5

25.0

44.3

42.3

34.8

37.5

46.0

30.6

42.0

34.8

41.5

48.2

▲8.2

▲19.5

▲2.0

+2.7

▲15.4

▲7.2

+6.7

【優位・劣位】

■2026/5 全国

■2026/5 豊田

前回比

全国比

評価段階別内訳

前回比

全国比

景気モニター生の声

＜＋：回復感あり－：回復感なし＞

＋：【商店街代表者】組合発行の商品券が2月から6月までで約1億円を販売した。それ以上の消費があったと考える。

＋：【コンビニエリア店長】単価は物価高で上がっていますが、買上げ点数は下がっており、客数は分散傾向にあるものの売上は良い。

＋：【観光名所・テーマパーク職員】日経平均株価がとうとう6万円を突破。政府の為替介入があったが、160円近くまで円安となっており、インバウンドのお客様にとっては大変訪問しやすい国となっている。

＋：【ホテル旅館経営者】昨年と比べても利用客数は右肩上がりであり、好況といえる。ただし、6月に関しては動きが弱い為、今後の動向を注視している。

－：【住宅販売会社】材料費高騰により家を建てる人が少なくなり、賃貸が増えている。

－：【食料品製造業】急激なコストアップにより値上げ対応が追い付かず、利益が圧迫されている。

－：【輸送業】中東戦争の影響による自動車生産台数の減少、原材料費、燃料費高騰など物価高、ナフサ・オイル・シンナー・塗料など供給量不足による更なる減産が見込まれる。

－：【職業安定所職員】中東情勢や原材料価格高騰の関係で、仕事量が減少していると企業からの話をきくことがある。一部の従業員の休業を検討している企業もある。

総合DI（豊田）悪化

前回

今回

42.8▲6.336.5

●前回比

・総合：悪化（曇→雨）

・家計：悪化（曇→雨）

・企業：悪化（晴→雨）

・雇用：悪化（晴→曇）

●全国比

・総合：不変（劣位→劣位）

・家計：不変（劣位→劣位）

・企業：悪化（優位→劣位）

・雇用：不変（優位→優位）

前回比

全国比

全ての業種で景況感の横ばいを示すDI50を下回った

（D I）

小売

飲食

サービス

住宅

製造

非製造

雇用

44.1

33.2

34.4

33.3

50.0

43.6

39.3

43.8

53.7

32.2

47.1

33.0

53.1

48.2

▲10.9

▲1.1

▲6.4

+4.5

▲21.5

▲14.1

▲4.9

【改善・悪化】

■2025/11 調査

■2026/5 調査

中東情勢・物価高騰を理由に「小売」「飲食」「製造」が全国比で弱い

（D I）

小売

飲食

サービス

住宅

製造

非製造

雇用

40.9

33.2

42.4

33.3

42.6

43.6

31.4

43.8

41.0

32.2

39.8

33.0

39.2

48.2

▲7.7

▲9.1

+1.0

+12.4

▲8.8

▲6.8

+9.0

【優位・劣位】

■2026/5 全国

■2026/5 豊田

前回比

全国比

自由回答：景気モニターからの貴重な声

■製品の納期未定、受注停止等イラン中東情勢の影響をもろに受けています。政府はガソリン、軽油等の補助金を出していますが、補助金を盾に安売り競争を繰り広げている販売業者には懸念を感じます。お客様が低価格を望むことは理解できますが、小規模、零細企業にとっては、淘汰、廃業が加速しないかと危惧します。

■中東情勢の今後に心配が絶えない。様々な面で影響する事案であり、展望や支援策等、情報発信をお願いしたい。

■鉄道が名鉄と愛知環状鉄道しかないのはまちづくり上、ハンデであると思う。車の街としてどこまでも車中心のまちづくりを行うべきと考える。

■車の街の豊田市にモータースポーツが根付く様に、長期的に世界ラリー選手権が開催できるようにして欲しい。

■公立学校の部活動が地域移行となります。地域の企業と地域のクラブが、活動の場所・資金・指導者等で繋がる取り組みを期待します。地域のクラブ活動が盛んになることで子ども達の地域への帰属意識、豊田市の企業への感謝と市民としての誇りを育み、永続的に市が繁栄することを願います。

■トヨタ自動車より、休日カレンダー変更のニュースが出ていたが、今後街の動きに変わがあると思われ、動向が気になるところです。

■プレミアム付きデジタル商品券等を定期的に実施してほしい。プレミアムは30%くらいだと嬉しい。

■PayPayの地域商品券はとても良かった。スマホを使われていない高齢者の方への配慮がないのが残念だった。

■中小企業向けの融資相談やセミナーなど、気軽に行けるものが増えるとありがたいです。

■地域の食産業は観光・文化・雇用にもつながる重要分野です。展示会出展補助や事業計画策定支援など、攻めの投資に対する支援をより充実していただきたいです。

■物価高・燃料高・ナフサ危機の影響は深刻です。豊田信用金庫・豊田商工会議所には、地域事業者の実情を集約し、国・県・市へ踏み込んだ政策提言を強く望みます。

■小銭の入出金の手数料の規約がどんどん厳しくなり小銭を多く扱う店舗は対策が必要となっている。これ以上厳しくならないといいなと思う。

■豊田信用金庫のネット、アプリ化が全然進んでいない。このままの状況であれば、豊田信用金庫にお金を預けるメリットがない為、銀行変更を検討している。

総合DI（豊田）悪化

前回

今回

46.0▲7.338.7

●前回比

・総合：悪化（曇→雨）

・家計：悪化（曇→雨）

・企業：悪化（曇→雨）

・雇用：悪化（晴→曇）

●全国比

・総合：不変（劣位→劣位）

・家計：不変（劣位→劣位）

・企業：悪化（優位→劣位）

・雇用：不変（優位→優位）

前回比

全国比

「飲食」「製造」「非製造」の景況感が大きく低下

（D I）

小売

飲食

サービス

住宅

製造

非製造

雇用

38.7

37.8

40.6

27.1

52.6

47.4

32.1

31.3

45.7

36.1

51.9

36.6

53.1

44.6

▲0.9

▲13.5

▲5.2

▲0.8

▲9.6

▲15.3

▲8.5

【改善・悪化】

■2025/11 調査

■2026/5 調査

全国比、「飲食」「製造」の豊田における景況感は相当に弱い様相

（D I）

小売

飲食

サービス

住宅

製造

非製造

雇用

44.1

37.8

43.8

27.1

46.8

47.4

36.2

31.3

46.5

36.1

43.9

36.6

43.6

44.6

▲6.3

▲16.7

+0.6

▲4.9

▲10.4

▲7.3

+1.0

【優位・劣位】

■2026/5 全国

■2026/5 豊田

前回比

全国比

～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

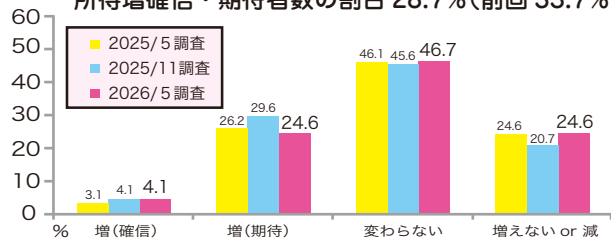
【特別調査】

所得見通し※ 消費意欲の調査

※2012年から調査を継続しています。

今後、所得は増えていくと思いますか？

所得増確信・期待者数の割合 28.7%(前回 33.7%)

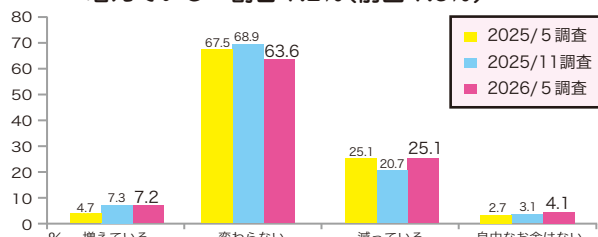


所得増への期待感はやや縮小傾向。

前回調査時まで上昇傾向だった所得増への期待は、一旦の落ち着きを見せた。所得は「増えない・減る」と回答したモニターが増加しており、豊田市内における賃上げや価格転嫁による所得改善の進捗は限定的と見られる。

自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

“増えている”割合 7.2%(前回 7.3%)



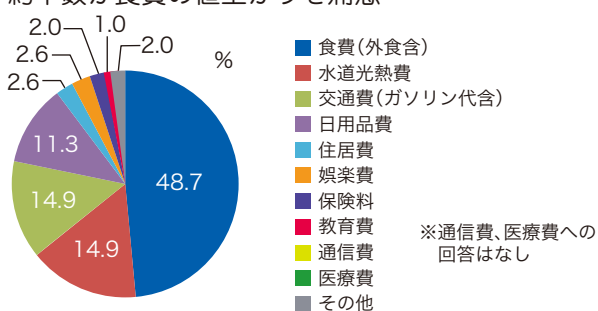
「お小遣い」減少により消費活動の鈍化を懸念。

消費活動に直結する「お小遣い」は、昨今の物価高の影響を受け、自由に使えるお金は相対的に「減っている」との回答が増加した。物価高のスピードに所得増が十分に追いついていない状況と見られ、消費活動の鈍化が懸念される。

物価高・節約に関する調査

最も値上がりを実感した支出項目は何ですか？

約半数が食費の値上がりを痛感



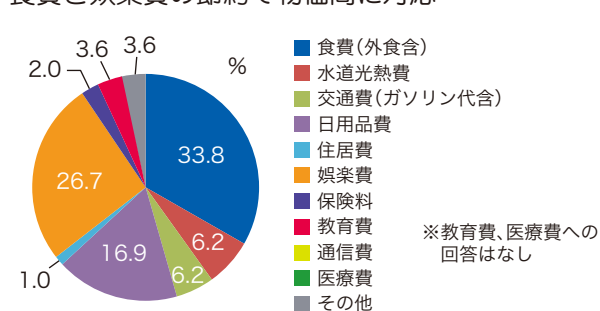
※通信費、医療費への回答はなし

【物価高について寄せられたコメント】

- 全てのものが値上がりしているように感じる。
- 食材も高騰しているが、外食価格も高騰している。
- 気象の影響でエアコンが止められなくなっており、命の危険もあり節約のしようがない。

一番支出を抑えた(節約した)支出項目は何ですか？

食費と娯楽費の節約で物価高に対応



※教育費、医療費への回答はなし

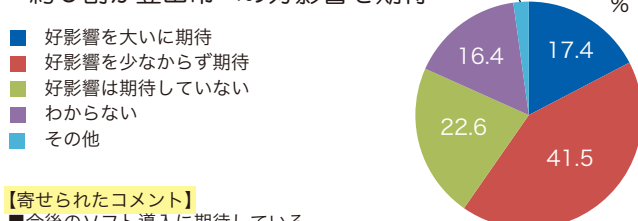
【節約について寄せられたコメント】

- 外食時は注文する品数を減らして対応、回数は減らしていない。
- 外食を控え、自炊を増やした。なるべく直売所などの地元の食材を使うようにした。
- レジャー費を抑えるために外出が減った。

豊田市駅周辺の整備に関する調査

豊田市駅周辺整備を通じた豊田市への影響の期待は？

約6割が豊田市への好影響を期待

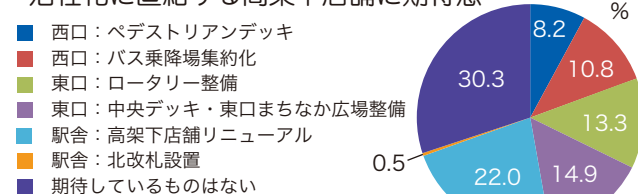


【寄せられたコメント】

- 今後のソフト導入に期待している。
- 整備をしている他の都市と比べても商業ビル、ホテルなど見劣りする。
- 人通りが増え、街が賑わえば近隣の飲食店にも好影響があると思う。

どの取組みに一番期待しますか？(予定のものも含む)

活性化に直結する高架下店舗に期待感



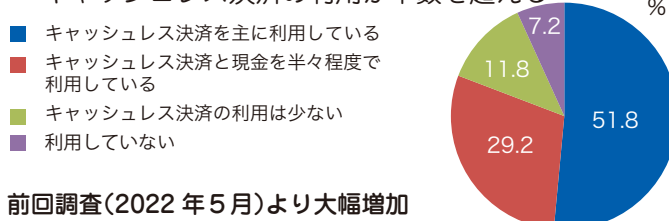
【寄せられたコメント】

- 駅から降りた時に豊田って楽しそうと思えるような広場にして欲しい。
- 整備後は市民や事業者にも実益が出る運用を望む。
- 東口には豊田市の顔としての役割を期待している。

キャッシュレスの利用状況に関する調査

キャッシュレス決済の利用状況は？

キャッシュレス決済の利用が半数を超える

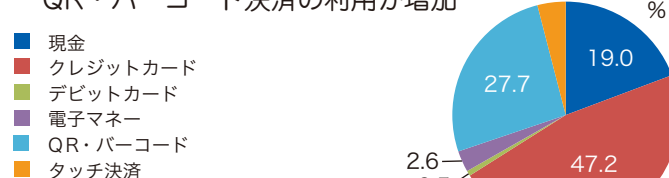


前回調査(2022年5月)より大幅増加

キャッシュレス決済をメインで利用する方が半数超となりました。また現金と半々程度の方と合わせると8割超となり、豊田市内におけるキャッシュレス決済の浸透が進んでいることが確認できました。

主な決済手段は？

QR・バーコード決済の利用が増加



依然クレジットカードの利用が多数

主な決済方法を伺ったところ、クレジットカードを主に使用される方が半数近くとなりました。QR・バーコード決済は3割弱となっていますが、現金よりも利用率は高くなっており、今後も利用率の伸びが期待されます。